DocuColor 1250シリーズ/DocuPrint C1250

取扱説明書(仕様編)



THE DOCUMENT COMPANY

FUJI XEROX

ご注意

① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載することはおやめください。
② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。

はじめに

このたびは富士ゼロックスの製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書は、DocuColor 1250シリーズとDocuPrint C1250の仕様を中心に、プリンターの機能について記載しております。

製品の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、本書をご利用ください。

富士ゼロックス株式会社

目　次

第6章　その他の機能

第7章　注意と制限

付　録

マニュアル体系について

ここでは、DocuColor 1250シリーズとDocuPrint C1250のマニュアルの種類と、本体同梱のマニュアルについて、その概要を説明します。

マニュアルの種類

この製品に関して、次のマニュアルを用意しています。

本体同梱マニュアル

プリンター本体に、いくつかの取扱説明書が同梱されています。この取扱説明書を本体同梱マニュアルと呼びます。
本体同梱マニュアルでは、設置のしかた、設定／操作方法などを説明しています。

本体同梱マニュアル

本体同梱マニュアルについては「付録A マニュアル一覧」を参照してください。

本書の読み方

ここでは、本書の対象読者、マニュアルの種類、本書の構成について説明します。

前提知識

本書は、プリンターの特長、主な仕様、機能上の注意と制限について知りたいときに、読んでいただきたいマニュアルです。
本書の内容は、DocuColor 1250は、「取扱説明書(プリント機能設定編)」または「取扱説明書(プリント機能操作編)」、DocuPrint C1250は、「取扱説明書(設置編)」または「取扱説明書(操作編)」の、「安全にご利用いただくために」の内容と、お使いのパーソナルコンピューターの環境やネットワーク環境の基本的な知識や操作方法について 、理解されていることを前提に説明しています。
お使いのパーソナルコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法については、パーソナルコンピューター、オペレーティングシステム、ネットワークシステムに付属の説明書をお読みください。

本書の役割

本書は、プリンターの特長、主な仕様、機能上の注意と制限について知っていただくことを目的に制作いたしました。
本書を読む場合には、最初から順に読み進めてください。

本書の構成

本書の各章の内容は次のとおりです。

第1章　製品概要

プリンターの特長、構成、オプション製品、対象ホストについて説明しています。

第2章　インターフェイス

プリンターの持つインターフェイスの種類と機能について説明しています。

第3章　給紙と排紙

給紙部、排紙部で使用できる用紙の種類やサイズについて説明しています。

第4章　印刷機能

このプリンターで利用できるプリント言語、フォント、解像度などについて説明しています。

第5章　レポートとリスト

レポート/リストと、印刷される各項目について説明しています。

第6章　その他の機能

プリント速度やオートパワーセーブなど、第5章までで説明していないプリンターの機能、メモリー割り当ての考え方、ホストユーティリティの種類について説明しています。

第7章　注意と制限

本機を利用するにあたって、注意していただきたいことについて説明しています。

付録

マニュアルの一覧、オプション製品一覧、主な仕様について記載しています。

用語の説明

本書で使用している主な用語の意味を説明しています。

本書の表記

① 本文中では、説明する内容によって、次の用語を使用しています。

注記　注意すべき事項を記述しています。

補足　補足事項を記述しています。

参照　参照先を記述しています。

② 本文中の「ホスト装置」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。

製品概要

1 章

1.1 特　長

DocuColor 1250シリーズ/DocuPrint C1250(以降本機と呼びます)は、次のような特長を持つプリンターです。

1.1.1　ネットワーク対応

本機は、ネットワークに直接接続することのできるネットワーク対応型プリンターで、次の機能を用意しています。

- マルチインターフェイス機能
- マルチプロトコル機能
- コンカレント(同時)受信機能

これらの機能は、ネットワークで結ばれたパソコンから利用するときに、威力を発揮します。

1.1.2　高生産性

本機は、次の特長により生産性を向上させます。

- 高速ハードウェア
  - ・ Power PC 603e-300MHzを採用
- フォントキャッシュ機能
- ソートプリント機能(ハードディスクを利用した電子丁合機能)
- 100Mbps Ethernet対応

ハードディスクを装着してソートプリント機能を利用すると、1部めのプリントに時間を要する原稿でも、2部め以降は、プリンターのプリント速度を引き出すことができます。

1.1.3　仕分け出力

本機は、次の便利な仕分け出力機能を用意しています。

- オフセット出力機能

オプションの内蔵ハードディスクを装着して、ソートプリント機能とオフセット出力機能を利用すれば、各部数ごとにずらして出力することができます。プリントしたものをコピーするという手間が省け、必要部数を高品質に高速で作成することができます。(DocuPrint C1250 Netは標準で装備。DocuColor 1250、DocuPrint C1250では、内蔵ハードディスクのほかに、オプションの排出トレイMが必要です)

1.1.4　最大5ウェイ給紙

4つのトレイに手差しトレイを加えて、5ウェイ給紙が可能です。官製はがきからSRA3（320×450mm/12.6×17.7インチ）までの多様なサイズの用紙を出力サイズに合わせてセットでき、印刷することができます。SRA3（320×450mm/12.6×17.7インチ）サイズまで対応しているので、図面の出力にも利用できます。

1.1.5　高品位

解像度が600dpiのレーザー方式で、品質の高い印刷を得ることができます。また、印刷全面のエッジ部を滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に2400dpi相当まで解像度を高めるImage Enhancement機能があります。

1.1.6　パソコンからのプリント管理

ネットワーク環境でプリンターの状況を管理するソフトウェアのCentreWareを用意しています。用紙切れや消耗品切れ、紙づまりなど、日常使っているプリンターの状態や、プリントジョブの状態を、パソコンの画面上で確認することができます。

1.1.7　ドキュメント管理

ドキュメントハンドリング・ソフトウェアのDocuWorksを標準で装備しています。異なるアプリケーションで作成したデータを束ねて1つの文書にして一括してプリントしたり、ページを並べ替えてプリントできます。

1.2 構　成

ここでは、本機の機能面から見た構成を紹介します。

1.2.1 標準構成

本機の本体は、機能から、記録部、給紙部、排紙部、コントローラー部に分けることができます。

記録部

記録部は、用紙に画像を記録する部分です。本体の記録部の機能は、次のとおりです。

- 50PPM（白黒モード）　12.5PPM（カラーモード）：A4サイズ□送りの場合
- 600dpi

給紙部

給紙部は、印刷に使用する用紙を蓄えておく部分です。本体に標準で用意されている給紙部の機能は、次のとおりです。

- トレイ1　　　　　　560枚（P紙）、530枚収納（J紙）
- トレイ2～トレイ4　　620枚（P紙）、580枚（J紙）収納
- トレイ5（手差し）150枚（P紙）、140枚（J紙）収納

排紙部

排紙部は、印刷された用紙が蓄えられる部分です。本体に標準で用意されている排紙部の機能は、次のとおりです。

- オフセットキャッチ機能（DocuPrint C1250 Netは標準で装備。DocuColor 1250、DocuPrint C1250では、オプションの排出トレイMが必要です）

コントローラー部

コントローラー部は、ホスト装置からのデータを画像に変換する部分です。本体に標準で用意されているコントローラー部の機能は、次のとおりです。

- プリンター言語（PLW）
- 64MB RAM（DocuPrint C1250 Netは128MB）
- アウトラインフォント（和文2書体、欧文40書体）
- パラレルインターフェイス
- Ethernetインターフェイス（DocuPrint C1250 Netは標準で装備）
- RAM増設用スロット（2スロット、空きは1スロット）
- プログラム増設用スロット（2スロット、DocuColor 1250、DocuPrint C1250は空きは1つ、DocuPrint C1250 Netは空きなし）
- ハードディスク用接続インターフェイス
- フォントROM用スロット（3スロット、空きは2スロット）

1.2.2 オプション製品構成

本機は、次のオプション製品を用意しています。

- **インターフェイスボード（**DocuPrint C1250 Net**は標準で装備）**
- **内蔵ハードディスク（**DocuPrint C1250 Net**は標準で装備）**
- **増設**RAM**モジュール**64MB
- **増設**RAM**モジュール**128MB
- CPU**アップグレードキット**
- **排出トレイ**M**（**DocuPrint C1250 Net**は標準で装備）**
- **カラーイメージアクセラレーター**
- **パラレルインターフェイスケーブル（**PC98**用**14Pin**）**
- **パラレルインターフェイスケーブル（**PC98**用**20Pin**）**
- **パラレルインターフェイスケーブル（**PC-98 MATE**用）**
- **パラレルインターフェイスケーブル（**IBM PC AT**用**25Pin**）**

1.3 オプション製品

ここでは、本機のオプション製品を紹介します。

1.3.1 コントローラー部用オプション製品

インターフェイスボード

インターフェイスボードを取り付けることで、イーサネット通信ができるようになります。（DocuPrint C1250 Netは標準で装備）

内蔵ハードディスク装置

内蔵ハードディスク装置をプリンターに取り付けることで、スプールデータを格納できます。また、ソートプリント機能を利用したときの圧縮されたイメージデータの一時的な蓄積場所として利用されます。（DocuPrint C1250 Netは標準で装備）

増設RAMモジュール

増設RAMモジュールを取り付けることで、プリンターのメモリー容量を増設できます。
次の種類の増設RAMモジュールを用意しています。

- 増設RAMモジュール64MB
- 増設RAMモジュール128MB

なお、増設RAMモジュールは64MB､128MBを問わず、2枚まで取り付けることができます。

CPUアップグレードキット

CPUアップグレードキットを取り付けることで、キャッシュメモリーを増やし、プリンターのパフォーマンスを向上させることができます。

カラーイメージアクセラレーター

カラーイメージアクセラレーターをプリンターに取り付けることで、RGBデータからCMYKデータに高速に変換できます。

1.3.2　インターフェイスケーブル

パラレルインターフェイスを利用してホスト装置と接続するときには、ホスト装置に合わせて、本機専用のインターフェイスケーブルを利用してください。
パラレルインターフェイスを利用するときの専用のインターフェイスケーブルには、次の種類があります。

- パラレルインターフェイスケーブル(PC98用 14Pin)
- パラレルインターフェイスケーブル(PC98用 20Pin)
- パラレルインターフェイスケーブル(IBM PC AT用25Pin)
- パラレルインターフェイスケーブル(PC-98 MATE用)

1.4 対象ホスト

ここでは、本機と接続して利用できるホストを説明します。

1.4.1 パーソナルコンピューター

本機と接続して利用することのできるパーソナルコンピューターは、次のとおりです。

- PC-98
- IBM PC/AT互換機

1.4.2 PC-98

次の条件を満たすPC-98が対象となります。

機種	PC-98シリーズ
クライアントOS	Microsoft Windows NT® 4.0 Windows® 95/98
インターフェイス	パラレル NetWare Windows NT®（NetBEUI、TCP/IP） Windows® 95/98（NetBEUI、IPX/SPX）

1.4.3 IBM PC/AT互換機

次の条件を満たすIBM PC/ATが対象となります。

機種	IBM PC/AT互換機
クライアントOS	Microsoft Windows NT® 4.0 Windows® 95/98
インターフェイス	パラレル NetWare Windows NT®（NetBEUI、TCP/IP） Windows® 95/98（NetBEUI、IPX/SPX）

インターフェイス

2章

2.1 分　類

ここでは、ホスト装置や、ネットワークと本機の間のインターフェイスについて説明します。

2.1.1　物理インターフェイス

本機の物理インターフェイスには、次の種類があります。

- パラレルインターフェイス（標準）
- Ethernetインターフェイス（DocuPrint C1250 Netは標準で装備。DocuColor 1250、DocuPrint C1250はオプション）

2.1.2　論理インターフェイス

本機の論理インターフェイスを、ホストインターフェイスといいます。ホストインターフェイスは、Point to Pointホストインターフェイスと、Networkホストインターフェイスに分類することができます。

Point to Pointホストインターフェイス

Point to Pointホストインターフェイスは、ホスト装置と直接接続する形態です。本機のPoint to Pointホストインターフェイスは、次のとおりです。

- パラレルポート

Networkホストインターフェイス

Networkホストインターフェイスは、ホスト装置とネットワークを介して接続する形態です。本機のNetworkホストインターフェイスは、次のとおりです。

- lpdポート
- NetWareポート
- SMBポート
- SNMPエージェント
- インターネットサービス

必要な物理インターフェイス

ホストインターフェイスを動作させるために必要な物理インターフェイスは、次のとおりです。

ホストインターフェイス	パラレルインターフェイス	Ethernetインターフェイス
パラレルポート	○	ー
lpdポート	ー	○
SMBポート	ー	○
NetWareポート	ー	○
SNMPエージェント	ー	○

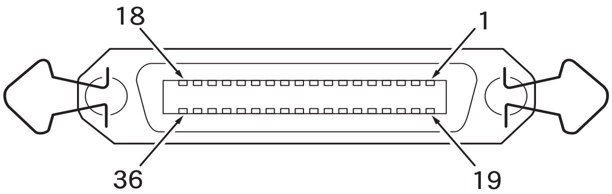
補足　○は動作可能です。　ーは動作不可能です。

2.2 パラレルインターフェイス

ここでは、本機に標準で装備されているパラレルインターフェイス(セントロニクス準拠インターフェイス/IEEE1284規格準拠)について説明します。

2.2.1 コネクターの形状

プリンターには、IEEE1284-Bタイプのコネクターが装備されています。コネクターの形状は次のようになっています。



2.2.2 ピン配置

双方向通信が[シナイ]のとき、各信号のピン配置は、次のようになっています。

Pin No.	Signal Name	I/O	Pin No.	Signal Name	I/O
1	nStrobe	I	19	Signal Ground	−
2	Data1	I	20	Signal Ground	−
3	Data2	I	21	Signal Ground	−
4	Data3	I	22	Signal Ground	−
5	Data4	I	23	Signal Ground	−
6	Data5	I	24	Signal Ground	−
7	Data6	I	25	Signal Ground	−
8	Data7	I	26	Signal Ground	−
9	Data8	I	27	Signal Ground	−
10	nAck	O	28	Signal Ground	−
11	Busy	O	29	Signal Ground	−
12	PError	O	30	Signal Ground	−
13	Select	O	31	nInit	I
14	nAutoFd	I	32	nFault	O
15	(RESERVED)	−	33	(RESERVED)	−
16	Logic GND	−	34	(RESERVED)	−
17	(RESERVED)	−	35	(RESERVED)	−
18	Peripheral Logic High	O	36	nSelectIn	I

補足
- I/Oはプリンターから見てIが入力信号、Oが出力信号、－は信号でないことを表しています。
- 双方向通信が[スル]のときの結線は、IEEE1284-Bタイプコネクターの規格に準拠しています。

2.2.3　信号の意味

双方向通信が[シナイ]のとき

- nStrobe（Pin No.1）
  Data1〜8を読み込むための同期信号、LOWアクティブのパルスが必要です。
- Data1〜8（Pin No.2〜9）
  8 bits パラレルのData入力でData1がLSB（最下位bit ）、Data8がMSB（最上位bit）です。
- nAck（Pin No.10）
  受信DATAの取り込み完了を表す、LOWアクティブのパルス信号です。
- Busy（Pin No.11）
  プリンターがDATA受信不可能であることを表す、HIGHアクティブの信号です。
- PError（Pin No.12）
  用紙がなくなったことを表す、HIGHアクティブの信号です。
- Select（Pin No.13）
  データ受信可能であることを表す、HIGHアクティブの信号です。
- nAutoFd（Pin No.14）
  双方向通信が[スル]のときのための信号です。
- Peripheral Logic High（Pin No.18）
  プリンター側の電源ONを表す信号です。
- Signal Ground（Pin No.19〜30）
  各信号用グランドに接続されます。
- nInit（Pin No.31）
  プリンターの初期化を要求する、LOWアクティブのパルス信号です。
- nFault（Pin No.32）
  プリンターに紙づまり等の障害が発生したことを表す、LOWアクティブの信号です。
- nSelectIn（Pin No.36）
  双方向通信が[スル]のときのための信号です。

双方向通信がスルのとき

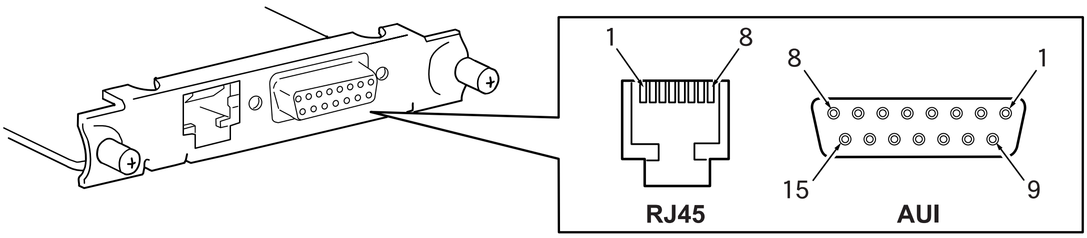
各信号はIEEE1284の規格に準拠しています。

2.3 Ethernetインターフェイス

ここでは、本機に標準で装備されているEthernetインターフェイスについて説明します。
Ethernet**インターフェイスは、**SMB、NetWare**プロトコル、**NetBEUI、TCP/IP**プロトコル、**SNMP**エージェントに対応しています。**

2.3.1 コネクターの形状

本機には、Ethernet**インターフェイスが装備されています。コネクターの形状は次のようになっています。**



2.3.2 ピン配置

各信号のピン配置は、次のようになっています。

RJ45 コネクター仕様			
ピン番号	**名称**	**ピン番号**	**名称**
1	TD+	5	(RESERVED)
2	TD-	6	RD-
3	RD+	7	(RESERVED)
4	(RESERVED)	8	(RESERVED)

AUI コネクター仕様			
ピン番号	**名称**	**ピン番号**	**名称**
1	GND	9	COLN
2	COLP	10	TXDN
3	TXDP	11	GND
4	GND	12	RXDN
5	RXDP	13	+12V
6	GND	14	GND
7	(RESERVED)	15	(RESERVED)
8	GND		

2.4 ホストインターフェイスの機能

ここでは、本機のホストインターフェイスの機能について説明します。

2.4.1　マルチインターフェイス機能

すべてのホストインターフェイスを同時に搭載できます。
また、ホストインターフェイスは、起動するかどうかを操作パネルを使って、設定できます。ホストインターフェイスの起動についての設定は、電源をOFF**にしても保持されます。**
ホストインターフェイスを停止することはできません。電源をON**にすると、起動するように設定されていたホストインターフェイスが起動し、電源が**OFF**になるまで停止しません。なお、操作パネルの**<ポーズ>**キーを押すと、ホストインターフェイスを一時停止させることができます。**

2.4.2　マルチプロトコル機能

インターフェイスボードを取り付けると、NetWare、SMB、TCP/IP、SNMP**エージェントの各プロトコルが利用できるようになります。**
このうち、NetWare**と**TCP/IP**について、次に説明します。**

NetWare

データリンク層は、ETHERNET_II、ETHERNET_802.2、ETHERNET_802.3、ETHERNET_SNAP**に対応しています。ネットワーク層は、**IPX**に対応しています。トランスポート層は、**SPX**に対応しています。**

TCP/IP

データリンク層は、ETHERNET_II**に対応しています。ネットワーク層は、**IP**に対応しています。トランスポート層は、**TCP**と**UDP**に対応しています。**

2.4.3　ネットワークアプリケーション

本機は、NetWare 3.xJ、NetWare 4.xJ、lpd、SMB**に対応しています。**
NetWare 3.xJ**と**NetWare 4.xJ**では、プリントサーバーモードとリモートプリンターモードに対応しています。**
lpd**では、**lpr、lprm、lpq**の各コマンドに対応しています。また、同時に受け付けることのできるセッション数は、スプールをする場合で最大**5**となります。スプールをしない場合、セッション数は**1**となります。**
lpd**と**SMB**では、次の中からスプールについて選択できます。**

- **スプールしない**
- **スプールする（メモリー）**
- **スプールする（ハードディスク）**

2.4.4　トランスポートプロトコル

ホストインターフェイスのうち、SMBポート、lpdポート、SNMPエージェントは、操作パネルから設定することで、複数のトランスポートプロトコルを使用できます。

SMBポート

トランスポートプロトコルとして、TCP､NetBEUIを併用できます。

lpdポート

トランスポートプロトコルとして、TCPを併用できます。

SNMPエージェント

トランスポートプロトコルとして、IPX、UDPを併用できます。NetWare環境でＳＮＭＰエージェントを利用するときには、ＩＰＸを起動してください。Windows NT環境でエージェントを利用するときには、UDPを起動してください。

2.4.5　自動プロトコル切り替え機能

Ethernetインターフェイスを利用すると、NetWare、TCP/IPのプロトコルを使用できます。このとき、受信したプロトコルに合わせて、プリンターは自動的にポートを切り替えます。

2.4.6　コンカレント受信機能

各ホストインターフェイスで同時にデータを受信できます。

2.5 設定項目

ここでは、使用するホストインターフェイスとプリンターの、設定項目について説明します。

2.5.1　パラレルポート利用時

パラレルポートを使ってホスト装置と接続する場合は、操作パネルで次の項目を設定してください。

- パラレル（パラレルポートの起動）　（初期値：キドウ）
- プリントモード指定　（初期値：ジドウ）
- JCLスイッチ　（初期値：ユウコウ）
- 自動排出時間　（初期値：30ビョウ）
- 双方向通信　（初期値：スル）
- インプットプライム　（初期値：ユウコウ）
- パラレルメモリー（受信バッファメモリー）　（初期値：256KB）

パラレル

パラレルポートを使用するときには、メンテナンスモードのポート状態のパラレルを[キドウ]に設定します。初期値（工場出荷時の設定）は[キドウ]です。

プリントモード指定

使用するプリント言語を限定できるときには、そのプリント言語に設定します。複数のプリント言語を使用しているときには、[ジドウ]に設定します。[ジドウ]に設定すると、プリンターは受信したデータがどのプリント言語で記述されているかを自動判別し、データに合わせて適切なプリント出力を行います。ただし、判別の対象となるプリント言語は、PLW言語の1種類です。初期値（工場出荷時の設定）は[ジドウ]です。

JCLスイッチ

JCLによる制御を行わないときには、[ムコウ]に設定します。JCLによる制御を行うときには、[ユウコウ]に設定します。初期値（工場出荷時の設定）は[ユウコウ]です。通常、[ユウコウ]で使用します。

自動排出時間

データの受信を開始後にデータが受信されない状態が継続したとき、プリンターは一連の印刷データの終わりと見なし、プリンター内に残っているデータを自動的に印刷して排出します。
データの印刷が途中で終了してしまう場合は、自動排出時間の設定を長くしてください。初期値（工場出荷時の設定）は[30ビョウ]です。

双方向通信

ホスト装置が双方向通信に対応していない場合は、必ず双方向通信を[シナイ]に設定します。初期値(工場出荷時の設定)は[スル]です。

インプットプライム

通常の使用では、工場出荷時の設定を変更する必要はありません。初期値(工場出荷時の設定)は[ユウコウ]です。

パラレルメモリー(受信バッファメモリー)

複雑な文書を印刷する場合、メモリー量を大きくすることでパフォーマンスが向上します。印刷する文書に合わせて設定してください。初期値(工場出荷時の設定)は[256KB]です。

2.5.2　lpdポート利用時

lpdを利用するときには、次の項目を設定します。
ただし、トランスポートで選択したプロトコルによって設定項目は異なります。

- lpd(lpdポートの起動)　(初期値： テイシ)
- プリントモード指定　(初期値： ジドウ)
- JCLスイッチ　(初期値： ユウコウ)
- Ethernet設定　(初期値： ジドウ(T/TX))
- IPアドレス　(初期値： 設定なし)
- サブネットアドレス　(初期値： 設定なし)
- ゲートウェイアドレス　(初期値： 設定なし)
- lpdスプール　(初期値： スプールシナイ(256KB))

lpd

lpdを使用するときには、メンテナンスモードのポート状態のlpdを[キドウ]に設定します。初期値(工場出荷時の設定)は[テイシ]です。

プリントモード指定

使用するプリント言語を限定できるときには、そのプリント言語に設定します。複数のプリント言語を使用しているときには、[ジドウ]に設定します。初期値(工場出荷時の設定)は[ジドウ]です。

JCLスイッチ

JCLによる制御を行わないときには、[ムコウ]に設定します。JCLによる制御を行うときには、[ユウコウ]に設定します。初期値(工場出荷時の設定)は[ユウコウ]です。通常、[ユウコウ]で使用します。

Ethernet設定

Ethernetの通信速度、およびEthernetコネクターの種類を設定します。初期値（工場出荷時の設定）は[ジドウ（T/TX）]です。

IPアドレス/サブネットアドレス/ゲートウェイアドレス

トランスポート層のプロトコルに、TCP/IPを利用してネットワークに接続した場合に設定します。接続するネットワークの状況に合わせて設定します。初期値（工場出荷時の設定）はありません。

lpdスプール

メモリーを節約したい場合は、[シナイ]、または[ハードディスク]に設定します。処理を高速化したい場合は、[メモリー]に設定します。初期値（工場出荷時の設定）は[スプールシナイ（256KB）]です。内蔵ハードディスクがある場合の初期値は[ハードディスク]になります。

2.5.3　NetWareポート利用時

NetWareを利用するときには、次の項目を設定します。

- NetWare（NetWareポートの起動）　（初期値：テイシ）
- プリントモード指定　（初期値：ジドウ）
- JCLスイッチ　（初期値：ユウコウ）
- Ethernet設定　（初期値：ジドウ（T/TX））
- IPX/SPX設定　（初期値：ジドウ）
- NetWareメモリー　（初期値：256KB）

NetWare

NetWareを使用するときには、メンテナンスモードのポート状態のNetWareを[キドウ]に設定します。初期値（工場出荷時の設定）は[テイシ]です。

プリントモード指定

使用するプリント言語を限定できるときには、そのプリント言語に設定します。複数のプリント言語を使用しているときには、[ジドウ]に設定します。初期値（工場出荷時の設定）は[ジドウ]です。

JCLスイッチ

JCLによる制御を行わないときには、[ムコウ]に設定します。JCLによる制御を行うときには、[ユウコウ]に設定します。初期値（工場出荷時の設定）は[ユウコウ]です。通常、[ユウコウ]で使用します。

Ethernet設定

Ethernetの通信速度、およびEthernetコネクターの種類を設定します。初期値（工場出荷時の設定）は[ジドウ（T/TX）]です。

IPX/SPX設定

トランスポート層のプロトコルに、IPX、SPXを利用してネットワークに接続する場合の動作フレームタイプを設定します。
通常は工場出荷時の設定（[ジドウ]）で利用することができます。しかし、接続できない場合は、接続するネットワークに合わせた値に設定します。
[ジドウ]に設定した場合は、接続されているネットワーク上のパケットをモニターし、送受信するフレームタイプを自動的に設定します。
ただし、同ネットワーク上にその他のプロトコルが同時に存在する場合や、ネットワーク構成機器（HUB等）がフレームタイプの自動設定に適合していない場合は、ネットワーク構成機器のプリンターが接続されたポートのデータリンクランプが点灯していないことを確認し、ファイルサーバーに設定されているフレームタイプを選択してください。初期値（工場出荷時の設定）は[ジドウ]です。

NetWareメモリー

通常の使用では、工場出荷時の設定を変更する必要はありません。初期値（工場出荷時の設定）は[256KB]です。

2.5.4　SMBポート利用時

SMBを利用するときには、次の項目を設定します。

- SMB（SMBポートの起動）　（初期値：キドウ）
- プリントモード指定　（初期値：ジドウ）
- JCLスイッチ　（初期値：ユウコウ）
- トランスポート　（初期値：キドウ（NetBEUI）
テイシ（TCP/IP））
- Ethernet設定　（初期値：ジドウ（T/TX））
- IPアドレス（TCP/IP使用時）　（初期値：設定なし）
- サブネットアドレス（TCP/IP使用時）　（初期値：設定なし）
- ゲートウェイアドレス（TCP/IP使用時）　（初期値：設定なし）
- SMBスプール　（初期値：スプールシナイ（256KB））

SMB

SMBを使用するときには、メンテナンスモードのポート状態のSMBを[キドウ]に設定します。初期値（工場出荷時の設定）は[キドウ]です。

プリントモード指定

使用するプリント言語を限定できるときには、そのプリント言語に設定します。複数のプリント言語を使用しているときには、[ジドウ]に設定します。初期値(工場出荷時の設定)は[ジドウ]です。

JCLスイッチ

JCLによる制御を行わないときには、[ムコウ]に設定します。JCLによる制御を行うときには、[ユウコウ]に設定します。初期値(工場出荷時の設定)は[ユウコウ]です。通常、[ユウコウ]で使用します。

トランスポート

接続するネットワークで使用しているトランスポート層のプロトコルを、[キドウ]に設定します。複数のトランスポート層のプロトコルを[キドウ]に設定することができます。初期値(工場出荷時の設定)は、NetBEUIは[キドウ]、TCP/IPは[テイシ]です。

Ethernet設定

Ethernetの通信速度、およびEthernetコネクターの種類を設定します。初期値(工場出荷時の設定)は[ジドウ(T/TX)]です。

IPアドレス/サブネットアドレス/ゲートウェイアドレス

トランスポート層のプロトコルに、TCP/IPを利用してネットワークに接続した場合に設定します。接続するネットワークの状況に合わせて設定します。初期値(工場出荷時の設定)はありません。

SMBスプール

メモリーを節約したい場合は、[スプールシナイ]、または[ハードディスク]に設定します。処理を高速化したい場合は、[メモリー]に設定します。初期値(工場出荷時の設定)は[スプールシナイ(256KB)]です。内蔵ハードディスクがある場合の初期値は[ハードディスク]になります。

給紙と排紙

3章

3.1 用紙

ここでは、使用できる用紙と、用紙の保管方法について説明します。用紙のセット方法については、取扱説明書(操作編)を参照してください。

3.1.1　普通紙

本機は、一般に販売されている普通紙に印刷できます。
次の表を参照して、規格に適合した用紙を使用してください。
なお、規格に適合した用紙でも、「3.1.9　使用できない用紙」で説明している項目に当てはまる用紙を使用すると、印刷品質に影響したり、 紙づまりや故障の原因となったりすることがあります。弊社推奨の用紙を使用することをお勧めします。

給紙方法	規　格
トレイ1	メートル坪量　:　64～105未満 g/m^2 連量　:　55～90kg
トレイ2、3、4	メートル坪量　:　64～128 g/m^2 連量　:　55～110kg
トレイ5（手差し）	メートル坪量　:　64～256 g/m^2 連量　:　55～220kg

補足
- **メートル坪量とは、$1m^2$の用紙1枚の質量をいいます。**
- **連量とは、四六判(788×1,091mm)の用紙1,000枚の質量をいいます。**

標準紙

性能をはかる場合に使用する用紙を標準紙と呼びます。
本機の標準紙は、FX P紙、FX L紙、FX Green100紙、V516(白黒用)/V556(カラー用)OHPフィルム、J紙、JD紙です。

サイズ

本機は、次の大きさの用紙に印刷できます。

サイズ名	大きさ
A3	297.0 × 420.0mm
B4	257.0 × 364.0mm
A4	210.0 × 297.0mm
B5	182.0 × 257.0mm
A5	148.0 × 210.0mm
官製はがき	100.0 × 148.0mm

サイズ名	大きさ
SRA3	320.0 × 450.0mm
8.5 × 11"（レター）	215.9 × 279.4mm
8.5 × 13"	215.9 × 330.2mm
8.5 × 14"（リーガル）	215.9 × 355.6mm
11 × 17"	279.4 × 431.8mm
8 × 10"	203.2 × 254.0mm
5.5 × 8.5"	215.9 × 139.7mm
12 × 18"	304.8 × 457.2mm
定型外	（148 ～ 297）×（200 ～ 432）mm

補足
- 官製はがき、定型外サイズは、トレイ5（手差し）から給紙することで、利用できます。

3.1.2　特殊紙

本機は、普通紙のほかに次の用紙にも印刷できます。これらの用紙を特殊紙と呼びます。

- OHPフィルム/電飾フィルム
- ラベル用紙
- カラーペーパー
- トレーシングペーパー（第二原図用紙）
- 穴あき用紙

3.1.3　OHPフィルム/電飾フィルム

トレイ5（手差し）から給紙することで、A4サイズのOHPフィルムに印刷できます。

弊社では次のOHPフィルムを用意しています。

- XEROX P/N V516（白黒用）/V556（カラー用）（A4：210×297mm　A3：297×420mm）

3.1.4　ラベル用紙

トレイ1～4またはトレイ5（手差し）から給紙することで、A4サイズまたはB4サイズのラベル用紙に印刷できます。

弊社では次のラベル用紙を用意しています。

- XEROX P/N V860　（A4：210×297mm）

3.1.5　官製はがき

トレイ5(手差し)から給紙することで、官製はがきに印刷できます。

3.1.6　カラーペーパー

トレイ1〜4またはトレイ5(手差し)から給紙することで、A4サイズまたはA3サイズのカラーペーパーに印刷できます。
弊社では次のカラーペーパーを用意しています。

- ゼロックスカラーペーパー　(A4 : 210×297mm)
- ゼロックスカラーペーパー　(A3 : 297×420mm)

3.1.7　トレーシングペーパー(第二原図用紙)

トレイ5(手差し)から給紙することで、トレーシングペーパー(第二原図用紙)に印刷できます。
弊社では次のトレーシングペーパー(第二原図用紙)を用意しています。

- GX75紙　(74 g/m^2)
- GX85紙　(85 g/m^2)

3.1.8　穴あき用紙

トレイ1〜4またはトレイ5(手差し)から給紙することで、穴あき用紙に印刷できます。
穴あき用紙は、穴のある辺が奥側になるようにセットしてください。

3.1.9　使用できない用紙

下記のような普通紙や特殊紙を使用すると、印刷品質が低下したり、紙づまりや故障などの原因となったりします。

- 厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
- プリンターで一度印刷された用紙
- シワや折れ、破れのある用紙
- ミシン目のある用紙
- 湿っている用紙、ぬれている用紙
- カールしている用紙、静電気で密着している用紙
- 紙の表面に特殊コーティングをした用紙、表面を加工したカラー用紙
- 150℃以上の熱で変質するインクを使った用紙、変質しやすい用紙
- 感熱用紙

- カーボン紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどがついた用紙
- ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
- 台紙全体がラベルで覆われていないラベル用紙

3.1.10 用紙の保管

適切な用紙でも、保管状態が悪いと用紙が変質し、紙づまりや印刷不良の原因となります。次のことに注意して、用紙を正しく保管してください。

湿気を避ける

用紙が湿気を含んでいると、印刷が不鮮明になったり、印刷されない部分が生じたりすることがあります。温度は10〜35℃内、湿度は15〜85%内でお使いください。また、温度が35℃のときは湿度47.5%以下、湿度が85%のときは温度27.8℃以下でお使いください。

使用直前まで開封しない

開封した用紙を再び保管するときは、包装紙に包んでください。

直射日光の当たらない場所へ

用紙が変色することがあるので、暗所に保管してください。

立てかけず、水平な状態にする

用紙が変形することがあるので、水平な状態にして保管してください。

3.2 給紙

ここでは、給紙部の機能について説明します。

3.2.1 給紙トレイ

本機は、標準で次の給紙トレイを利用できます。

- トレイ1
- トレイ2
- トレイ3
- トレイ4
- トレイ5(手差し)

3.2.2 容量

給紙トレイごとの容量は次のとおりです。

給紙トレイ	容　　量
トレイ 1	560 枚（P 紙）　530 枚（J 紙）
トレイ 2	620 枚（P 紙）　580 枚（J 紙）
トレイ 3	620 枚（P 紙）　580 枚（J 紙）
トレイ 4	620 枚（P 紙）　580 枚（J 紙）
トレイ 5（手差し）	150 枚（P 紙）　140 枚（J 紙）厚さが全部で 15mm を超えないこと

3.2.3 用紙の規格

使用できる用紙の規格は次のとおりです。

給紙方法	規　　格
トレイ 1	メートル坪量　:　64 〜 105 未満 g/m^2 連量　:　55 〜 90kg
トレイ 2、3、4	メートル坪量　:　64 〜 128g/m^2 連量　:　55 〜 110kg
トレイ 5（手差し）	メートル坪量　:　64 〜 256g/m^2 連量　:　55 〜 220kg

3.2.4 用紙サイズと方向

使用できる用紙のサイズと方向は、用紙トレイによって異なります。

用紙サイズ	方向	トレイ1	トレイ2〜4	トレイ5（手差し）
A3	▭	×	○	○
B4	▭	×	○	○
A4	▭	×	○	○
A4	▯	○	○	×
B5	▭	×	○	○
B5	▯	△	○	×
A5	▭	△	×	○
A5	▯	×	×	×
官製はがき	▭	×	×	○
SRA3	▭	×	×	○
8.5 × 11" （レター）	▭	×	○	○
8.5 × 11" （レター）	▯	×	○	×
8.5 × 13"	▭	×	○	○
8.5 × 14" （リーガル）	▭	×	○	○
11 × 17"	▭	×	○	○
8 × 10"	▭	×	×	○
8 × 10"	▯	×	○	×
5.5 × 8.5"	▭	×	×	○
12 × 18"	▭	×	△	○
定型外	-	×	△	○

補足
- ○ は使用可能、× は使用不可能を表しています。
- トレイ1、トレイ2〜4の△は、カストマーエンジニアが設定することによって、セットできます。弊社または販売店にご相談ください。

給紙と排紙 3

3.2.5　給紙方式

ホスト装置でプリントを指示するときには、[トレイ指定]または[用紙サイズ指定]で用紙を選択できます。

トレイ指定

プリント実行時に指定したトレイから、給紙し、印刷します。

用紙サイズ指定

プリント実行時に指定した用紙サイズと方向に合ったトレイを検索し、そのトレイから給紙し、印刷します。このとき、トレイ5(手差し)は、検索の対象となりません。

3.3 排紙

ここでは、排紙部の機能について説明します。

3.3.1 排紙トレイ

DocuPrint C1250 Net（**ネットワークモデル**）**では、次の排紙トレイを使用できます。**DocuColor 1250、DocuPrint C1250**ではオプションです。**

- **排出トレイ**M

印刷機能

4

章

4.1 プリント言語

ここでは、本機で使用できるプリント言語について説明します。

4.1.1 ページ記述言語

印刷を指示すると、ホスト装置からプリンターにデータが送られます。このとき、このデータはある規則(文法)に従ったデータになっています。本機では、この規則(文法)をプリント言語といいます。

ページ記述言語

ページ記述言語をPDLともいいます。本機は、次のページ記述言語に対応しています。

- PLW言語

4.1.2 ホストインターフェイスとプリント言語

PLW言語に対応しているホストインターフェイスは、次のとおりです。

- パラレルポート
- NetWareポート
- lpdポート
- SMBポート

4.1.3 プリント言語の切り替え

本機は、対応するプリント言語の切り替えができるようになっています。
対応するプリント言語を切り替える方法は、次のとおりです。

コマンド切り替え

対応するプリント言語を切り替えるコマンドが用意されています。本機は、コマンドを受け取ると、対応するプリント言語を切り替えます。

自動切り替え

ホストインターフェイスが受信したデータを分析し、プリント言語を特定します。そして、対応するプリント言語を切り替えます。

インターフェイス従属

操作パネルを使って、ホストインターフェイスごとにプリント言語を設定します。受信したホストインターフェイスに合わせて、対応するプリント言語を切り替えます。

4.2 フォント

ここでは、本機で使用できるフォントについて説明します。

4.2.1　フォントの種類

本機で使用できるフォントには、次の種類があります。

アウトラインフォント

アウトラインフォントとして、和文は、FXリョービ本明朝-L、FXリョービゴシック-Bの2書体、欧文は、Arial、Courier New、Impactなど計40書体が標準で用意されています。
詳しくは「5.5　フォントリスト」を参照してください。
なお、Windows®用のTrueTypeフォントは別途提供されています。

4.2.2　フォントキャッシュ

高速印刷を実現するために、ある程度の大きさまでのアウトラインフォントについては、フォントキャッシュを実行します。アウトラインフォントを印字するときには、一度、ビットマップの形式に変換されます。この処理時間をできるだけ短縮するために、処理後のビットマップ形式のデータを、ある期間、メモリーに保存しておきます。これをフォントキャッシュといいます。
保存されたビットマップ形式のデータは、電源を切ったり、システムリセットをしたりすると、消えてしまいます。
フォントキャッシュのためのメモリー容量は、操作パネルで設定できます。この値は、電源をOFFにしても保持されます。

4.3 解像度と Image Enhancement

ここでは、本機の解像度とImage Enhancementについて説明します。

4.3.1 解像度

本機の解像度は、副走査方向固定の、600dpiです。
副走査方向とは、用紙が送られる方向に直交する方向です。
dpiは、dot per inchの頭文字を取ったもので、1インチ(約25.4mm)当たりのドット数のことです。解像度を表すときによく使われる単位です。
この単位で表されている数値を72で割ると、1ポイント当たりのドット数の目安となります。例えば、600dpiのプリンターで10ポイント相当の固定ピッチの全角文字を印刷すると、600÷72×10=83.3なので、この文字はだいたい83×83ドットで構成されていることが分かります。

4.3.2 Image Enhancement

本機には、Image Enhancementという機能が用意されています。Image Enhancementとは、図形や文字の輪郭を滑らかにして、高品位な印刷をする機能です。
Image Enhancementは、プリントするときに指定することによって、有効と無効を切り替えられます。

4.4 その他の印刷機能

ここでは、トナーセーブなど、これまでに説明していない本機の印刷機能について説明します。

4.4.1　トナーセーブ

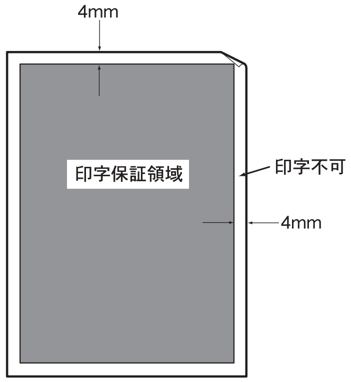
トナーセーブとは、印刷の濃度を薄くして、トナーの消費量を節約する機能です。
トナーセーブは、プリントするときに指示することによって、ジョブ単位で、有効と無効を切り替えられます。トナーセーブを有効にすると、印刷の濃度を薄くしているために、印刷品質が低下することがあります。

4.4.2　まとめて一枚

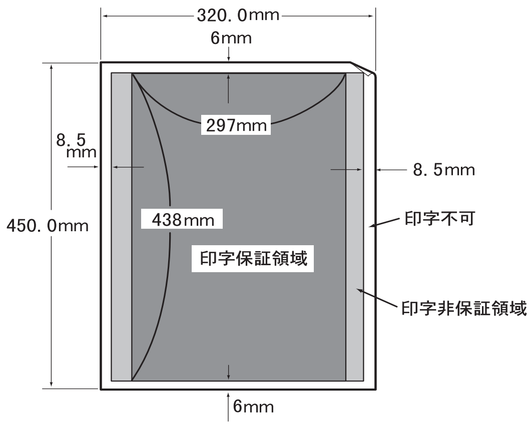
まとめて一枚は、複数ページを縮小して、1枚の用紙に印刷する機能です。
2ページまたは4ページずつを一枚の用紙にまとめて印刷できます。

4.4.3　有効印刷領域

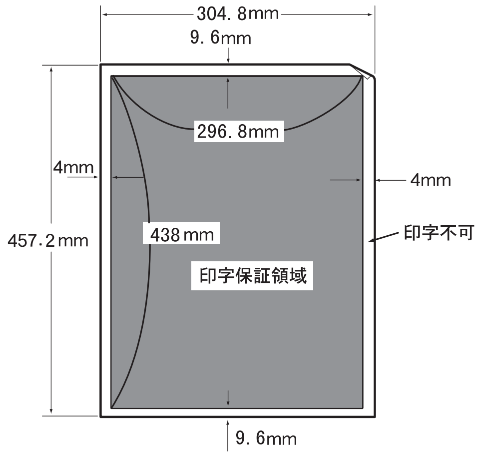
A3以下、および定型外の用紙の場合



SRA3の用紙の場合



12×18インチの用紙の場合



レポートとリスト

5章

5.1 種類と用紙サイズ

ここでは、レポート/リストの種類と、印刷に必要な用紙サイズについて説明します。

5.1.1 種類

本機には、ホスト装置からの送信データを印刷するほかに、いくつかの印刷機能が用意されています。これをレポート/リストといいます。
本機のレポート/リストは、次のとおりです。

- **ダンププリント**
- **スタートアップページ**
- **プリンター設定リスト**
- **フォントリスト**
- **エラー履歴レポート**
- **プリント履歴レポート**

なお、レポート/リストは600dpi**の解像度で実行されます。**

5.1.2 印刷用紙

レポート/リストを実行するときには、次のサイズの用紙を給紙トレイにセットしてください。

- A3
- B4
- A4

複数の給紙トレイに、サイズが異なる複数の用紙がセットされているときには、A4**、**B4**、**A3**の優先順位で、用紙が選択されます。**
どの給紙トレイにも、印刷できるサイズの用紙がセットされていない場合には、適切なサイズの用紙をセットするよう、メッセージが表示されます。用紙をセットすると、印刷が始まります。

5.2 ダンププリント

ここでは、ダンププリントについて説明します。

5.2.1 ダンププリントとは

ダンププリントは、ホスト装置から送信されたデータの内容を確認するときに利用します。指定したポートからのデータの内容が、16進表記形式と、対応するASCIIキャラクターで印刷されます。印刷するには、使用しているポートのプリントモードをDUMPに設定します。例えば、SMBポートを使用している場合は、操作パネルを使って、共通メニュー>ポートセッテイ>SMB>プリントモードシテイで、[DUMP]に設定します。

5.2.2 印刷結果について

ダンププリントの各列は、次の項目が印刷されます。

Count

ジョブの先頭データからのバイト数が、各行に印刷されます。

16進数表記コード

印刷データを4バイトごとに区切り、16進表記形式で印刷されます。

ASCIIコード

印刷データをJIS X0201の8単位符号を使用して印刷されます。JIS X0201で定義されていない文字は、UDと印刷されます。

印刷結果例

ダンププリントの印刷結果の例を、次のページに記載します。

```
                    ◆◆◆  ﾀﾞﾝﾌﾟﾌﾟﾘﾝﾄ  ◆◆◆
                                                1999/5/21    00:00:00
  ｼﾞｭｼﾝﾎﾟｰﾄ : SMB

__Count__                     __Hex__                                  __ASCII__
00000000   40 4a 4f 4d  4f 3d 50 52  49 4e 54 45  52 0a 40 4f     @JOM O=PR INTE R[LF]@O
00000010   55 54 52 3d  4d 41 49 4e  54 52 41 59  0a 40 43 4c     UTR= MAIN TRAY [LF]@CL
00000020   4c 54 3d 4f  46 46 0a 40  4a 4f 4f 46  3d 4f 46 46     LT=O FF[LF]@ JOOF =OFF
00000030   0a 40 44 53  50 52 3d 53  49 4d 50 4c  45 58 0a 40     [LF]@DS PR=S IMPL EX[LF]@
00000040   54 52 43 48  3d 4f 4e 0a  40 52 45 53  4f 3d 36 30     TRCH =ON[LF] @RES O=60
00000050   30 0a 40 43  4c 52 4d 3d  43 4f 4c 4f  52 0a 40 44     0[LF]@C LRM= COLO R[LF]@D
00000060   45 50 54 3d  38 0a 40 54  4f 53 41 3d  4f 46 46 0a     EPT= 8[LF]@T OSA= OFF[LF]
00000070   40 49 4d 45  4e 3d 4f 4e  0a 40 43 50  50 4d 3d 57     @IME N=ON [LF]@CP PM=W
00000080   4f 52 44 0a  40 54 43 50  52 3d 32 0a  40 47 43 50     ORD[LF] @TCP R=2[LF] @GCP
00000090   52 3d 32 0a  40 49 43 50  52 3d 33 0a  40 54 53 43     R=2[LF] @ICP R=3[LF] @TSC
000000a0   52 3d 34 0a  40 47 53 43  52 3d 34 0a  40 49 53 43     R=4[LF] @GSC R=4[LF] @ISC
000000b0   52 3d 34 0a  40 4a 4f 43  4f 3d 31 0a  40 4a 4f 41     R=4[LF] @JOC O=1[LF] @JOA
000000c0   55 3d 40 53  75 67 61 69  2d 4b 69 79  6f 73 68 69     U=@S ugai -Kiy oshi
000000d0   5c 44 45 4d  44 47 31 31  0a 40 50 4c  3e 50 4c 57     ¥DEM DG11 [LF]@PL >PLW
000000e0   0a 25 46 58  50 4c 57 2d  31 2e 35 2e  30 25 0a 25     [LF]%FX PLW- 1.5. 0%[LF]%
000000f0   57 49 4e 44  4f 57 53 2d  34 30 30 2c  50 4c 57 44     WIND OWS- 400, PLWD
00000100   52 56 2d 30  35 30 37 2e  30 25 0a 45  41 91 46 41     RV-0 507. 0%[LF]E A[UD]FA
00000110   01 00 96 45  50 5c 22 5b  31 39 39 39  2c 30 33 2f     [SH][NL][UD]E P¥”[ 1999 ,03/
00000120   31 39 2c 31  36 3a 32 32  3a 30 38 5d  5b 4d 69 63     19,1 6:22 :08] [Mic
00000130   72 6f 73 6f  66 74 20 57  6f 72 64 20  2d 20 50 55     roso ft W ord  - PU
00000140   74 69 6c 8a  4f 95 94 8e  64 97 6c 8f  91 5f 31 5f     til[UD] O[UD][UD][UD] d[UD]l[UD] [UD]_1_
00000150   30 38 5f 2e  64 6f 63 5d  5b 5c 5c 46  78 5f 30 38     08_. doc] [¥¥F x_08
00000160   34 30 34 61  5c 66 78 5f  30 38 34 30  34 61 2d 70     404a ¥fx_ 0840 4a-p
00000170   5d 22 45 50  3d 22 5b 33  36 33 33 6d  73 5d 5b 46     ]”EP =”[3 633m s][F
00000180   58 4c 4d 47  4a 44 43 2e  44 44 44 3a  39 30 30 30     XLMG JDC. DDD: 9000
00000190   38 3a 39 30  30 30 37 5d  5b 34 3a 30  3a 34 30 30     8:90 007] [4:0 :400
000001a0   30 33 62 36  3a 31 3a 5d  5b 31 30 31  30 35 30 30     03b6 :1:] [101 0500
000001b0   5d 22 45 63  03 00 05 45  50 13 22 5b  33 36 33 33     ]”Ec [EX][NL][EQ]E P[D3]”[ 3633
000001c0   6d 73 5d 53  74 61 72 74  50 61 67 65  22 41 61 3d     ms]S tart Page ”Aa=
000001d0   f5 c2 8f 00  00 00 00 00  00 00 00 bd  f5 c2 8f 41     [UD]ツ[UD][NL] [NL][NL][NL][NL] [NL][NL][NL]ｽ [UD]ツ[UD]A
000001e0   35 6a d5 44  4f a3 47 41  52 41 4d 02  03 ff 44 41     5jｭD O｣GA RAM[SX] [EX][UD]DA
000001f0   54 72 44 62  42 86 00 00  00 00 00 00  00 00 00 00     TrDb B[UD][NL][NL] [NL][NL][NL][NL] [NL][NL][NL][NL]
00000200   c2 86 00 00  00 00 00 00  00 00 00 00  44 43 01 05     ﾂ[UD][NL][NL] [NL][NL][NL][NL] [NL][NL][NL][NL] DC[SH][EQ]
00000210   00 d3 01 00  26 00 02 3c  3c 44 41 22  72 44 43 01     [NL]ﾓ[SH][NL] &[NL][SX]< <DA” rDC[SH]
00000220   51 00 d3 01  00 45 00 16  83 76 83 8a  83 93 83 67     Q[NL]ﾓ[SH] [NL]E[NL][SN] [UD]v[UD][UD] [UD][UD][UD]g
00000230   83 86 81 5b  83 65 83 42  83 8a 83 65  83 42 44 41     [UD][UD][UD][ [UD]e[UD]B [UD][UD][UD]e [UD]BDA
00000240   54 72 44 43  04 48 00 d3  01 00 26 00  02 3e 3e 44     TrDC [ET]H[NL]ﾓ [SH][NL]&[NL] [SX]>>D
00000250   41 22 72 44  43 04 94 00  d3 01 00 45  00 0a 8a 4f     A”rD C[ET][UD][NL] ﾓ[SH][NL]E [NL][LF][UD]O
00000260   95 94 8e 64  97 6c 8f 91  41 4d 02 03  ff 41 4a 01     [UD][UD][UD]d [UD]l[UD][UD] AM[SX][EX] [UD]AJ[SH]
00000270   41 4b 02 43  47 01 05 00  dd 04 93 00  e0 43 47 00     AK[SX]C G[SH][EQ][NL] ﾝ[ET][UD][NL] [UD]CG[NL]
00000280   f9 00 f0 11  37 01 02 44  41 54 42 44  44 0f c6 18     [UD][NL][UD][D1] 7[SH][SX]D ATBD D[SI]ﾆ[CN]
00000290   f3 02 00 0a  00 30 00 1d  00 2f 00 2d  00 21 00 22     [UD][SX][NL][LF] [NL]0[NL][GS] [NL]/[NL]- [NL]![NL]”
000002a0   00 13 00 11  00 22 00 11  00 0b 4e 65  77 43 6f 6e     [NL][D3][NL][D1] [NL]”[NL][D1] [NL][VT]Ne wCon
000002b0   74 20 31 2e  30 43 47 00  f9 18 96 11  37 18 a8 41     t 1. 0CG[NL] [UD][CN][UD][D1] 7[CN]ｨA
000002c0   42 01 87 18  74 01 d2 19  5d 44 41 41  42 44 43 01     B[SH][UD][CN] t[SH]ﾒ[EM] ]DAA BDC[SH]
000002d0   87 18 df 01  00 25 00 02  31 34 41 52  44 41 22 72     [UD][CN]ﾟ[SH] [NL]%[NL][SX] 14AR DA”r
000002e0   44 62 42 c8  00 00 00 00  00 00 00 00  00 00 c2 c8     DbBﾈ [NL][NL][NL][NL] [NL][NL][NL][NL] [NL][NL]ﾂﾈ
000002f0   00 00 00 00  00 00 00 00  00 00 44 43  01 05 02 d3     [NL][NL][NL][NL] [NL][NL][NL][NL] [NL][NL]DC [SH][EQ][SX]ﾓ
00000300   01 00 34 00  06 33 2e 31  2e 36 2e 44  41 41 72 44     [SH][NL]4[NL] [AK]3.1 .6.D AArD
00000310   43 02 3d 02  d3 01 00 00  00 01 20 44  41 22 42 44     C[SX]=[SX] ﾓ[SH][NL][NL] [NL][SH] D A”BD
00000320   43 03 29 02  d3 01 00 64  00 06 94 72  8f 6f 90 e6     C[EX])[SX] ﾓ[SH][NL]d [NL][AK][UD]r [UD]o[UD][UD]
00000330   43 47 00 f9  02 43 11 37  02 4f 43 47  00 f9 03 06     CG[NL][UD] [SX]C[D1]7 [SX]OCG [NL][UD][EX][AK]
00000340   11 37 03 0c  44 62 42 a6  00 00 00 00  00 00 00 00     [D1]7[EX][FF] DbBｦ [NL][NL][NL][NL] [NL][NL][NL][NL]
00000350   00 00 c2 a6  00 00 00 00  00 00 00 00  00 00 44 44     [NL][NL]ﾂｦ [NL][NL][NL][NL] [NL][NL][NL][NL] [NL][NL]DD
00000360   04 b6 03 c0  02 00 25 00  53 00 54 00  54 00 54 00     [ET]ｶ[EX]ﾀ [SX][NL]%[NL] S[NL]T[NL] T[NL]T[NL]
00000370   54 00 54 00  54 00 54 00  54 00 54 00  54 00 54 00     T[NL]T[NL] T[NL]T[NL] T[NL]T[NL] T[NL]T[NL]
00000380   54 00 54 00  54 00 54 00  54 00 54 00  53 00 54 00     T[NL]T[NL] T[NL]T[NL] T[NL]T[NL] S[NL]T[NL]
00000390   54 00 54 00  54 00 54 00  54 00 54 00  54 00 54 00     T[NL]T[NL] T[NL]T[NL] T[NL]T[NL] T[NL]T[NL]
000003a0   54 00 54 00  54 00 54 00  54 00 54 00  54 00 54 00     T[NL]T[NL] T[NL]T[NL] T[NL]T[NL] T[NL]T[NL]
000003b0   54 00 4c 94  72 8f 6f 90  e6 82 c9 91  ce 82 b5 82     T[NL]L[UD] r[UD]o[UD] [UD][UD]ﾉ[UD] ﾎ[UD]ｵ[UD]
000003c0   c4 93 c1 82  c9 8e 77 92  e8 82 aa 82  c8 82 a2 8f     ﾄ[UD]ﾁ[UD] ﾉ[UD]w[UD] [UD][UD]ｪ[UD] ﾈ[UD]｢[UD]
000003d0   ea 8d 87 81  41 83 76 83  8a 83 93 83  67 83 86 81     [UD][UD][UD][UD] A[UD]v[UD] [UD][UD][UD][UD] g[UD][UD][UD]
000003e0   5b 83 65 83  42 83 8a 83  65 83 42 82  f0 8f 6f 97     [[UD]e[UD] B[UD][UD][UD] e[UD]B[UD] [UD][UD]o[UD]
000003f0   cd 82 b7 82  e9 94 72 8f  6f 90 e6 83  67 83 8c 44     ﾍ[UD]ｷ[UD] [UD][UD]r[UD] o[UD][UD][UD] g[UD][UD]D

                                   -1-
```

5.3 スタートアップページ

ここでは、スタートアップページについて説明します。

5.3.1 スタートアップページとは

スタートアップページは、電源を入れたときに印刷されます。スタートアップページには、電源を入れたときのプリンターの状態のチェック結果が印刷されます。スタートアップページを確認することで、正しく動作、設定されているかがわかります。
工場出荷時は、スタートアップページが印刷されるように設定されています。操作パネルで、印刷しないように設定を変更できます。操作パネルを使って、共通メニュー>メンテナンスモード>システムセッテイ>スタートアップページで、[シナイ]に設定します。

5.3.2 印刷結果について

スタートアップページには、次の項目が印刷されます。

プリントページ数

現在までに印刷したカラープリントページ数、白黒プリントページ数、総プリントページ数が印刷されます。計算方法については、「6.1.8 排出カウント」を参照してください。

全体

印刷モードと、認識できたRAMの総量が印刷されます。本機では、標準で64MB(DocuPrint C1250 Netは128MB)のメモリーが搭載されています。64MBのメモリーを増設すると、128MBと印刷されます。

ROM

装着されているROMのバージョンが印刷されます。

フォント

装着されているフォントの種類とフォント数が印刷されます。

ページ記述言語

利用できるプリンター言語と、そのバージョンが印刷されます。

コミュニケーション

利用できるホストインターフェイスが印刷されます。
ここに印刷されているMACアドレスから、NetWareで利用するときの情報を得ることができます。例えば、Ethernet 100BASE-TX, 10BASE-T/10BASE-5アドレス 08:00:37:08:40:4Aと印刷されているときには、装置名がFX08404Aとなります。

画質

解像度とトナーセーブの状態が印刷されます。

オプション

ハードディスクの有無、装着されている排紙モジュール、カラーイメージアクセラレーターの有無、二次キャッシュメモリーの容量が印刷されます。ハードディスクがある場合には、ハードディスクの総容量も印刷されます。また、二次キャッシュメモリーは、CPUアップグレードキットが装着されているときに印刷されます。

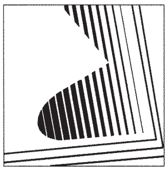
印刷結果例

スタートアップページの印刷結果の例を、次のページに記載します。

DocuPrint C1250
スタートアップページ

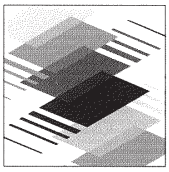
1999/05/21 00:00:00

カラープリントページ数　　0ページ
白黒プリントページ数　　0ページ
総プリントページ数　　0ページ



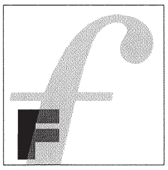
全体

カラー：12.5ページ/分
白黒：50ページ/分
メモリー容量 ： 128MB



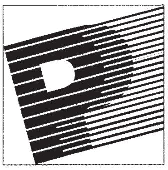
ROM

標準ROM Ver. 1.0.0
NetROM Ver. 1.0.0



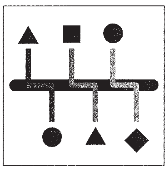
フォント

TrueType和文 ： 2書体
TrueType欧文 ： 40書体



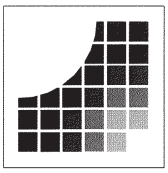
ページ記述言語(PDL)

PLW Ver. 1.0



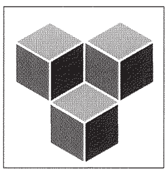
コミュニケーション

パラレル
Ethernet®
　100BASE-TX/10BASE-T/10BASE-5
　アドレス **:**:**:**:**:**
　NetWare®　SMB　lpd



画質

解像度　　600dpi
トナーセーブ機能



オプション

内蔵ハードディスク
　あり　総容量(6143MB)
オフセット排出トレイ

THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX

5.4 プリンター設定リスト

ここでは、プリンター設定リストについて説明します。

5.4.1 プリンター設定リストとは

プリンター設定リストには、ハードウェア構成とホストインターフェイス設定が印刷されます。一部の内容は、スタートアップページに印刷される項目と重複しています。
印刷するには、操作パネルを使って、共通メニュー>レポート/リスト>プリンターセッテイリスト>プリントデキマスに設定して、[排出/セット]ボタンを押します。

5.4.2 印刷結果について

プリンター設定リストには、次の項目が印刷されます。

全体

プリントページ数、ページ記述言語、解像度、両面機能、ROMバージョンが印刷されます。

プリントページ数	現在までに印刷したカラープリントページ数、白黒プリントページ数、総プリントページ数が印刷されます。計算方法については、「6.1.8 排出カウント」を参照してください。
ページ記述言語	利用できるプリント言語が印刷されます。
解像度	利用できる解像度が印刷されます。
両面機能	両面機能の有無が印刷されます。(現在、両面機能はありません)
ROM バージョン	装着している ROM のバージョンが印刷されます。

オプション

ハードディスクの有無、インターフェイスボードの有無、装着されている排紙オプション、排出先、オプションのROMなどが印刷されます。

内蔵ハードディスク	オプション製品のハードディスクの有無が印刷されます。ハードディスクがある場合には、ハードディスクの総容量も印刷されます。
インターフェイスボード	オプション製品のインターフェイスボードの有無が印刷されます。インターフェイスボードを装着していると、種類とMAC アドレスが印刷されます。 ここに印刷されているMACアドレスから、NetWareで利用すると

レポートとリスト

5

	きの情報を得ることができます。例えば、Ethernet 100BASE-TX, 10BASE-T/10BASE-5 アドレス 08:00:37:08:40:4Aと印刷されているときには、装置名が FX08404Aとなります。
排出ユニット	オフセット排出トレイなど、利用できる排出ユニットが印刷されます。
排出先	利用できる排紙トレイが印刷されます。
オプションROM	装着されているオプションROMの名称が印刷されます。
カラーイメージアクセラレーター	カラーイメージアクセラレーターの有無が印刷されます。
二次キャッシュメモリー	オプション製品のCPUアップグレードキットの有無と、そのメモリー容量が印刷されます。

メンテナンス

スタートアップページ、プリント警告音、節電モード移行時間、紙づまりの処理、自動プリント履歴、IPX/SPX設定、SNMPエージェント、CentreWare Internet Service、Ethernet設定、TCP/IP設定の設定値、IPX/SPXの動作タイプが印刷されます。

メモリー

搭載されているメモリーの総容量と、フォントキャッシュメモリー、PLW用メモリー、各ポートごとの受信バッファーメモリー（lpdとSMBはスプール設定の状態）の設定値が印刷されます。

インターフェイス

各ポートが起動しているか、停止しているかが印刷されます。起動しているときには、次の項目と設定値が印刷されます。

パラレル	プリントモード、JCLスイッチ設定、自動排出時間、双方向送信モード、インプットプライムの対応
lpd	プリントモード、JCLスイッチ設定、
SMB	プリントモード、JCLスイッチ設定、トランスポートの設定状態、ホスト名、ステータス情報
NetWare	プリントモード、JCLスイッチ設定、動作モード、装置名（プリンター名）、ネットワークアドレス、ツリー名、コンテキスト名、ステータス情報

印刷結果例

プリンター設定リストの印刷結果の例を、次のページに記載します。

DocuPrint C1250
プリンター設定リスト

1999/05/21 00:00:00

全体

プリントページ数	
カラープリントページ数	0ページ
白黒プリントページ数	0ページ
総プリントページ数	0ページ
ページ記述言語(PDL)	PLW
解像度	600dpi
両面機能	なし
ROMバージョン	
標準ROM	Ver. 1.0.0
NetROM	Ver. 1.0.0

オプション

内蔵ハードディスク	あり　総容量（6143MB）
インターフェイスボード	
Ethernet®	100BASE-TX/10BASE-T/10BASE-5 アドレス　**:**:**:**:**:**
排出ユニット	オフセット排出トレイ
排出先	排出トレイ
オプションROM	NetROM
カラーイメージアクセラレーター	なし
二次キャッシュメモリー	なし

メンテナンス

スタートアップページ	する
プリント警告音	しない
節電モード移行時間	60分後
紙づまりの処置	再プリントする
自動プリント履歴	しない
SNMPエージェント	起動
IPX	起動
UDP	停止
CentreWare Internet Services	停止
Ethernet®	自動(10BASE-T/100BASE-TX)
IPX/SPX	自動(Ethernet II)

メモリー

総容量	128MB
フォントキャッシュ	1.50MB
PLW	14.50MB
受信バッファ	
パラレル	256KB
SMB	スプール しない（容量 256KB）

プリント設定

自動トレイ禁止	なし

パラレル

ポート状態	起動
プリントモード指定	自動
JCL	有効
自動排出時間	30秒
双方向送信	する
インプットプライム	有効

lpd

ポート状態	停止

SMB

ポート状態	起動
プリントモード指定	自動
JCL	有効
トランスポート指定	
TCP/IP	停止
NetBEUI	起動
ホスト名	FX-******
ステータス情報	正常

NetWare®

ポート状態	停止

CentreWareは米国Xerox Corporationの登録商標です。

THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX

レポートとリスト
5

5.5 フォントリスト

ここでは、フォントリストについて説明します。

5.5.1 フォントリストとは

フォントリストには、PLWモードで利用できるフォントの一覧が印刷されます。
印刷するには、操作パネルを使って、共通メニュー>レポート/リスト>フォントリスト>プリントデキマスに設定して、[排出/セット]ボタンを押します。

5.5.2 印刷結果について

フォントリストには、PLWモードで利用できるフォントの名称とサンプル文字列が印刷されます。

印刷結果例

フォントリストの印刷結果の例を、次のページに記載します。
なお、ここでは、1ページめだけを記載しています。

5.5 フォントリスト

DocuPrint C1250
フォントリスト

日時 : 1999/05/21 00:00:00
ページ : 1

使用できる書体		書体サンプル
和文	FX リョービ 本明朝-L	ドキュメントの訴求力を高める、美しい書体と色彩
	FX リョービ ゴシック-B	ドキュメントの訴求力を高める、美しい書体と色彩
	FX リョービ P本明朝-L	ドキュメントの訴求力を高める、美しい書体と色彩
	FX リョービ Pゴシック-B	ドキュメントの訴求力を高める、美しい書体と色彩
欧文	Arial®	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	Arial® Italic	*ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789*
	Arial® Bold	**ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789**
	Arial® Bold Italic	***ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789***
	Arial® Black	**ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789**
	Arial® Narrow	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	Arial Rounded MT® Bold	**ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789**
	Book Antiqua®	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	Book Antiqua® Italic	*ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789*
	Book Antiqua® Bold	**ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789**
	Book Antiqua® Bold Italic	***ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789***
	Bookman Old Style™	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	Bookman Old Style™ Italic	*ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789*
	Bookman Old Style™ Bold	**ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789**
	Bookman Old Style™ Bold Italic	***ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789***
	Braggadocio™	**ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789**
	Brush Script MT™ Italic	*ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789*
	Century™	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	Century Gothic™	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	Century Schoolbook®	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	Century Schoolbook® Italic	*ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789*
	Century Schoolbook® Bold	**ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789**
	Century Schoolbook® Bold Italic	***ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789***
	Colonna MT™	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	Courier New	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	Courier New Italic	*ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789*
	Courier New Bold	**ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789**
	Courier New Bold Italic	***ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789***
	Footlight MT® Light	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	Garamond	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	Garamond Italic	*ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789*
	Garamond Bold	**ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789**
	Impact™	**ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789**
	Kino MT®	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789

THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX

5.6 プリント履歴レポート

ここでは、プリント履歴レポートについて説明します。

5.6.1　プリント履歴レポートとは

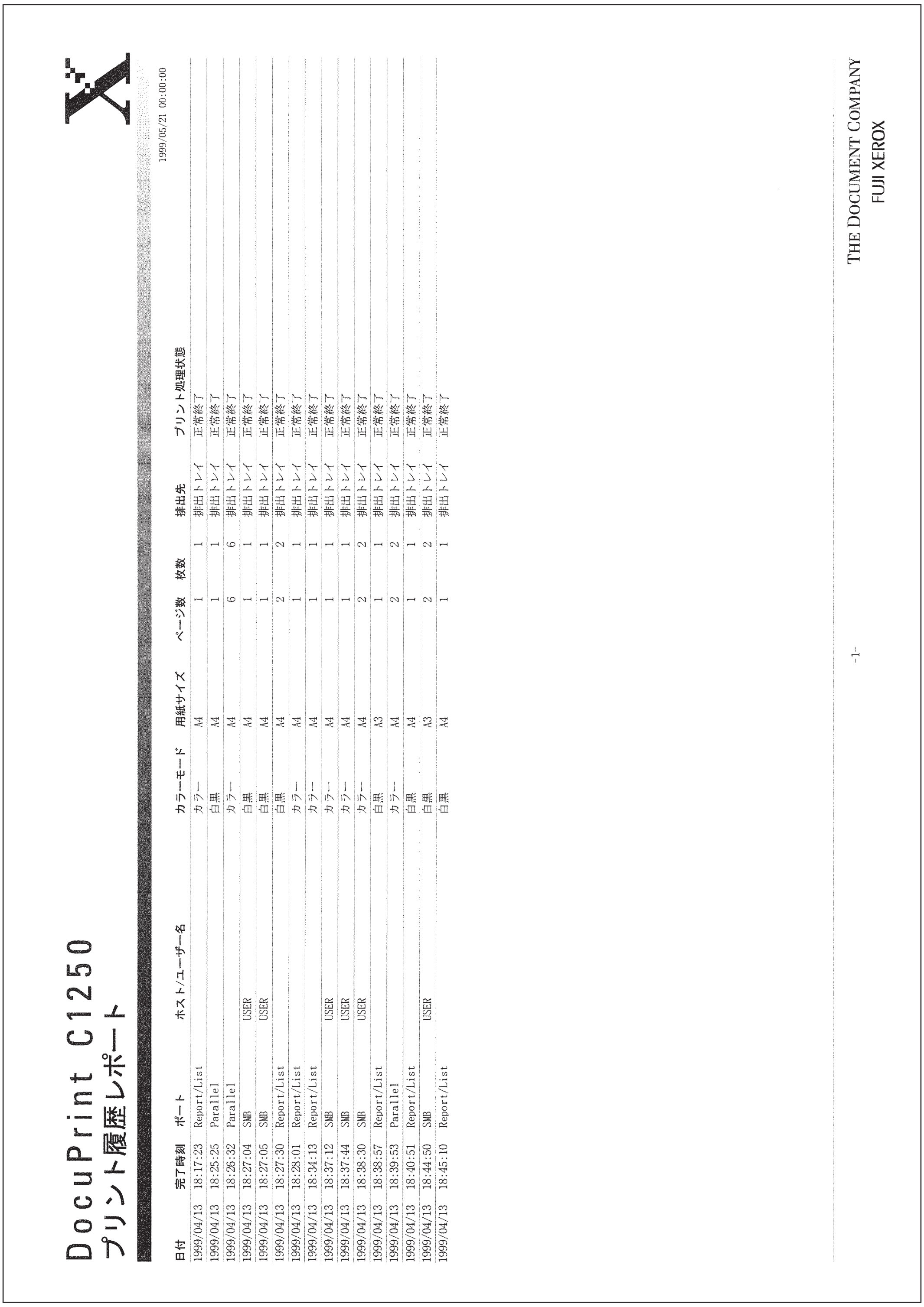
プリント履歴レポートで、ホスト装置から送られた印刷データが、正しく印刷されたかを確認できます。
操作パネルを使って、最新の50件までの印刷ジョブについてのプリント履歴レポートを印刷できます。
印刷するには、操作パネルを使って、共通メニュー>レポート/リスト>プリントリレキレポート>プリントデキマスに設定して、[排出/セット]ボタンを押します。
操作パネルで、印刷データが50件を超えるごとに自動的にプリント履歴レポートを印刷するかについて設定することができます。
設定するには、操作パネルを使って、共通メニュー>メンテナンスモード>システムセッテイ>ジドウプリントリレキを[スル]に設定します。

5.6.2　印刷結果について

プリント履歴レポートには、最新の50件までの印刷ジョブについて、日付、時刻、入力ポート、ホスト/ユーザー名、カラーモード、用紙サイズ、ページ数、枚数、排出先、プリント処理状態が印刷されます。
なお、ホスト/ユーザー名には、lpd、SMBのときにはホスト名が、NetWare（PServer）のときにはユーザー名が印刷されます。その他の場合には、何も印刷されません。

印刷結果例

プリント履歴レポートの印刷結果の例を、次のページに記載します。



DocuPrint C1250
プリント履歴レポート

1999/05/21 00:00:00

日付	完了時刻	ポート	ホスト/ユーザー名	カラーモード	用紙サイズ	ページ数	枚数	排出先	プリント処理状態
1999/04/13	18:17:23	Report/List		カラー	A4	1	1	排出トレイ	正常終了
1999/04/13	18:25:25	Parallel		白黒	A4	1	1	排出トレイ	正常終了
1999/04/13	18:26:32	Parallel		カラー	A4	6	6	排出トレイ	正常終了
1999/04/13	18:27:04	SMB	USER	白黒	A4	1	1	排出トレイ	正常終了
1999/04/13	18:27:05	SMB	USER	白黒	A4	1	1	排出トレイ	正常終了
1999/04/13	18:27:30	Report/List		白黒	A4	2	2	排出トレイ	正常終了
1999/04/13	18:28:01	Report/List		カラー	A4	1	1	排出トレイ	正常終了
1999/04/13	18:34:13	Report/List		カラー	A4	1	1	排出トレイ	正常終了
1999/04/13	18:37:12	SMB	USER	カラー	A4	1	1	排出トレイ	正常終了
1999/04/13	18:37:44	SMB	USER	カラー	A4	1	1	排出トレイ	正常終了
1999/04/13	18:38:30	SMB	USER	カラー	A4	2	2	排出トレイ	正常終了
1999/04/13	18:38:57	Report/List		白黒	A3	1	1	排出トレイ	正常終了
1999/04/13	18:39:53	Parallel		カラー	A4	2	2	排出トレイ	正常終了
1999/04/13	18:40:51	Report/List		白黒	A4	1	1	排出トレイ	正常終了
1999/04/13	18:44:50	SMB	USER	白黒	A3	2	2	排出トレイ	正常終了
1999/04/13	18:45:10	Report/List		白黒	A4	1	1	排出トレイ	正常終了

-1-

THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX

5.7 エラー履歴レポート

ここでは、エラー履歴レポートについて説明します。

5.7.1 エラー履歴レポートとは

エラー履歴レポートで、プリンタで発生したエラーを確認できます。
印刷するには、操作パネルを使って、共通メニュー>レポート/リスト>エラーリレキレポート>プリントデキマスに設定して、[排出/セット]ボタンを押します。

5.7.2 印刷結果について

エラー履歴レポートには、最新の50件までのエラーについて、日付、時刻、エラーコード、エラー分類が印刷されます。

印刷結果例

エラー履歴レポートの印刷結果の例を、次のページに記載します。

5.7 エラー履歴レポート

DocuPrint C1250

エラー履歴レポート

1999/05/21 00:00:00

日付	時刻	エラーコード	エラー分類
1999/04/13	17:35:35	c400a870	M/C Exit Sensor On(010-112)
1999/04/13	17:35:37	c400a09d	Regi Sensor On(008-157)
1999/04/13	17:49:18	c400a06b	Tray 1 Feed Out Sensor On(008-107)
1999/04/13	17:50:51	c400a09d	Regi Sensor On(008-157)

THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX

その他の機能

6章

6.1 その他のプリンターの機能

ここでは、いままでに説明していない本機の機能について紹介します。

6.1.1　プリント速度

本機の最大のプリント速度は、横方向 にセットしたA4サイズの用紙に印刷する場合で、白黒モードで50PPM、カラーモードで12.5PPMとなります。
このPPMとは、page per minuteの略称で、1分間に何枚印刷できるかを表す単位です。つまり、50PPMの場合、1分間に50枚の用紙に印刷できるということです。

6.1.2　オートパワーセーブ

待機しているときの電力の消費を抑えるために、一定時間、プリントデータを受信しないと、プリンターは自動的にパワーセーブモードになります。
パワーセーブモードになると、定着部、搬送部、コントローラーへの電力の供給が停止します。
自動的にパワーセーブモードになるまでの時間は、DocuColor 1250は機械管理者画面を表示して、DocuPrint C1250は操作パネルを使って、15分から240分の間で設定することができます。
パワーセーブモードからプリント可能状態に戻すには、データを送信するか、DocuColor 1250は[節電]ボタンかプリンター用操作パネルのいずれかのボタンを、DocuPrint C1250は操作パネルのいずれかのボタンを押します。

6.1.3　ウォームアップ時間

電源をONにしてから印刷が可能になるまでの時間は、DocuColor 1250は9分30秒以内、DocuPrint C1250は9分10秒以内です。この間にプリンターは自己診断を済ませます。

6.1.4　アラーム

プリンターが次の状態になったときに、アラームを鳴らすように設定できます。

- 紙づまり
- 指定されたトレイの用紙切れ
- 特定のエラーの発生

原因が解除されるか、一定時間が経過すると、アラームは停止します。
アラームを鳴らす時間は、操作パネルを使って、共通メニュー>メンテナンスモード>システムセッテイ>プリントケイコクオンで、[シナイ]、[レンゾク]、

または2秒から90秒の間で2秒ごとに設定できます。[レンゾク]に設定すると、原因が解除されるまで鳴りつづけます。

6.1.5　紙づまりの処置

ページデータを用紙が排出されるまで保持しておき、紙づまりが起こった場合に、紙づまりの処理後に、同じページを再印刷することができます。この機能を紙づまりの処置といいます。この機能を使うには、内蔵ハードディスクが必要です。（DocuPrint C1250 Netは標準で装備）
この機能を利用するとパフォーマンスが落ちるため、紙づまりの処置をしないように設定することもできます。操作パネルを使って、共通メニュー>メンテナンスモード>システムセッテイ>カミヅマリノショチで、[サイプリントシナイ]に設定します。
紙づまりの処置を[サイプリントシナイ]にした場合や内蔵ハードディスクが装着されていない場合に紙づまりが起きたら、ジョブは中止されます。

6.1.6　印刷の中止

操作パネルを使って、次の2とおりの中止ができます。

- 処理中のジョブの中止：[プリント中止]ボタンを押します
- すべてのジョブの中止：ディスプレイに【プリント シテイマス】と表示されているときに、[ポーズ]ボタンを押し、ポーズ状態になったら、[プリント中止]ボタンを押します。【ポーズ シテイマス】と表示されますので、再度[ポーズ]ボタンを押して、【プリント デキマス】に戻ります。

なお、ジョブとは、ひとまとまりの印刷データのことです。

6.1.7　ポーズ

操作パネルを使って、プリンターの動作を一時的に停止できます。これをポーズといいます。

6.1.8　排出カウント

プリンターは、過去から現在までの間に、印刷したページ数をカウントしています。印刷したページ数は、スタートアップページ、プリンター設定リストなどで確認できます。
用紙を正常に排出したページ数をカウントします。スタートアップページ、プリンター設定リストなどもカウントします。

6.2 メモリーの割り当て

ここでは、どのようにメモリーを割り当てたらよいかについて説明します。

6.2.1 用途

メモリーは、次の用途に使用します。

- システム用
- フォントキャッシュ用
- PLWの作業領域用
- 受信バッファー用
- ページバッファー用

6.2.2 各メモリーの役割

システムとページバッファー以外のメモリー容量は、操作パネルから設定を変更することができます。ただし、メモリーの全体量を越えた割り振りはできません。また、電源オン時に、設定値が搭載メモリー容量を越えた場合には、次項で説明する割り振り手順によって、システムによって自動的に調整されます。

システム用

プリンターのシステムが使用する領域です。操作パネルで使用する容量を変更することはできません。

フォントキャッシュ用

ダウンロードフォントデータを保持しておくメモリーのことです。通常は増やす必要はありません。フォントキャッシュメモリーの容量を増やすことにより、印刷する文書によっては、印刷時間が短縮される場合もあります。

PLWの作業領域用

PLWの作業領域用メモリーです。

受信バッファー用

複数のポートからのデータを受信するために、ポートごとに受信バッファーを用意しています。受信バッファーには、次の種類があります。

- パラレル受信バッファー
- SMB/lpdのスプールあるいは受信バッファー
- NetWare受信バッファー

パラレル受信バッファー

パラレルインターフェイス用の受信バッファーです。必要に応じて容量を増やしてください。容量を増やすと、処理が早くなることがあります。また、パラレルインターフェイスを使用しないならばポートを停止して、他の用途向けにメモリーを割り当ててください。停止するには、操作パネルで、共通メニュー>メンテナンスモード>ポートジョウタイ>パラレルで、[テイシ]に設定します。

SMB/lpdのスプールあるいは受信バッファー

スプールする場合は、スプール用のメモリーが必要になります。スプールしない場合でも、受信バッファーが必要になります。スプール用の領域を32MB以上確保したい場合には、内蔵ハードディスクを接続することをお勧めします。内蔵ハードディスクを接続した場合は、スプール先をハードディスクにすることができます。

NetWare®受信バッファー

NetWare®用の受信バッファーです。必要に応じて容量を増やしてください。

ページバッファー用

実際の印刷イメージを描画する領域です。他の用途向けに割り当てたあとの、残った領域から割り当てられます。操作パネルで使用する容量を設定することはできません。最小値は44.21MBです。ただし、搭載メモリーが64MBの場合には、34.75MB(64MBのときは、12×18インチおよびSRA3用紙には印刷できません)になります。

6.2.3 メモリーの割り振りについて

電源オン時に設定したメモリーを割り振れないときには、以下の表の上から順番で設定を最小にして割り振れたところで、正常の立上げとなります。一番左の列の番号が同じ場合はその項目は同時に処理されます。

	項目	初期値	最小値	最大値	設定単位
1	ページバッファー	-	44.21MB（メモリー64MB時は34.75MB）	44.21MB +残り	-
2	NetWare受信バッファー	256KB	64KB	1024KB	32KB
2	パラレル受信バッファー	256KB	64KB	1024KB	32KB
2	SMB受信バッファー（スプールシナイ）	256KB	64KB	1024KB	32KB
2	SMBスプール領域（スプールスル）	1MB	0.5MB	32MB	0.25MB
3	lpd受信バッファー（スプールシナイ）	256KB	64KB	1024KB	32KB
3	lpdスプール領域（スプールスル）	1MB	0.5MB	32MB	0.25MB
4	PLWの使用領域	14.5MB	14.5MB	64MB	0.25MB
5	フォントキャッシュ	1.5MB	1.5MB	2MB	0.25MB

6.3 ホストユーティリティ

ここでは、本機用のホスト装置に設置するソフトウェアについて説明します。

6.3.1 ホストユーティリティとは

ホストユーティリティとは、ホスト装置に設置するソフトウェアで、プリンターとセットで機能を提供します。
本機用のホストユーティリティは、次のとおりです。

- **プリンタードライバー**
- CentreWare
- DocuWorks

6.3.2 プリンタードライバー

オペレーティングシステムからの印刷データを、プリンターが処理できる形式に変換するソフトウェアです。
本機用のプリンタードライバーは、次のとおりです。

- PLW**ドライバー（**Windows® 95**用）**
- PLW**ドライバー（**Windows® 98**用）**
- PLW**ドライバー（**Windows NT® 4.0**用）**

6.3.3 CentreWare

NetWare®**環境や**Windows NT®**環境で利用されている本機に対して、設定の変更、状態や設定の確認、ジョブのキャンセルなどを、クライアント**PC**から指示するための**Windows® 95/98、Windows NT® 4.0**対応のソフトウェアです。**

6.3.4 DocuWorks

異なるアプリケーションで作成したデータを束ねて1**文書にして一括してプリントしたり、ページを並べ替えてプリントしたりすることができます。**Windows® 95/98、Windows NT® 4.0**対応のソフトウェアです。**

注意と制限

7

章

7.1 注意と制限

ここでは、本機を使用するうえでの注意および制限について説明します。

電源投入時

電源を入れた直後、何もデータを送っていないのにディスプレイに【プリント シテイマス】が表示された場合には、<プリント中止>ボタンを押してください。ただし、スタートアップページをプリントする設定にしている場合と、コンピューターを再起動したときに、ハードディスクにジョブがスプールされている場合は、電源を入れた直後、【プリント シテイマス】が表示され、印刷されます。

内蔵ハードディスク装着時

- ハードディスクの初期化を実行すると、ハードディスク内に登録されているデータはすべて消去されます。ハードディスクの初期化には最大25分時間がかかります。

メモリーの増設

装着されているメモリーの総量が64MBで、以下の症状が起きた場合や以下の機能を使用する場合は、オプションのRAMモジュール（64MB/128MB）の増設が必要です。

- ジョブが中止される。（ページバッファに展開できない場合、そのページを含むジョブが中止されます。）
- 12×18inchおよび12.6×18.0inchの用紙に印刷する場合
- 複数のネットワークプロトコルを同時に起動する場合

付　録

付-A マニュアル一覧

本体同梱マニュアルは、次のとおりです。

付-A.1 本体同梱マニュアル（DocuColor 1250シリーズ）

DocuColor 1250シリーズの本体に同梱されているマニュアルは、次のとおりです。

- DocuColor 1250シリーズ　取扱説明書（本体管理/コピー編）
- DocuColor 1250シリーズ　取扱説明書（プリント機能設定編）
- DocuColor 1250シリーズ　取扱説明書（プリント機能操作編）
- DocuColor 1250シリーズ/DocuPrint C1250　電子マニュアル

付-A.2 本体同梱マニュアル（DocuPrint C1250）

DocuPrint C1250の本体に同梱されているマニュアルは、次のとおりです。

- DocuPrint C1250　取扱説明書（設置編）
- DocuPrint C1250　取扱説明書（操作編）
- DocuColor 1250シリーズ/DocuPrint C1250　電子マニュアル

付-A.3 本体同梱マニュアル（DocuPrint C1250 Net）

DocuPrint C1250 Net（ネットワークモデル）の本体に同梱されているマニュアルは、次のとおりです。

- DocuPrint C1250　取扱説明書（設置編）
- DocuPrint C1250　取扱説明書（操作編）
- DocuColor 1250シリーズ/DocuPrint C1250　取扱説明書（ネットワークプリント環境設定編）
- DocuColor 1250シリーズ/DocuPrint C1250　電子マニュアル

付-B オプション製品一覧

オプション製品は次のとおりです。お買い求めのさいは、販売店までご連絡ください。

商　品　名	商品区分	商品コード
インターフェイスボード Type1	オプション製品	WU47
内蔵ハードディスク	オプション製品	WU46
増設RAMモジュール64MB	オプション製品	WU44
増設RAMモジュール128MB	オプション製品	WU45
CPUアップグレードキット	オプション製品	WU43
排出トレイM	オプション製品	WU19
カラーイメージアクセラレーター	オプション製品	WU49
パラレルインターフェイスケーブル（PC98用 14Pin）	オプション製品	VD12
パラレルインターフェイスケーブル（PC98用 20Pin）	オプション製品	VD13
パラレルインターフェイスケーブル（IBM PC AT用）	オプション製品	VD15
パラレルインターフェイスケーブル （PC-98 MATE用 25Pin）	オプション製品	YH57

補足

- 商品の種類や商品コードは1999年5月現在のものです。
- 商品の種類や商品コードは変更されることがあります。
- 最新の情報については、弊社テレフォンセンターにお問い合わせください。

付-C 主な仕様

付-C.1　DocuColor 1250シリーズ

形式	床上型（コンソールタイプ）レーザープリンター
プリント方式	半導体レーザー方式 ゼログラフィ方式
プリント速度	50枚/分（白黒モード） 12.5枚/分（カラーモード） 記録条件：A4サイズ▯送り （同一内容を連続印刷）
ウォームアップタイム	電源投入後9分30秒以内 （温度20℃、湿度60%の場合）
解像度/階調	600dpi/256階調（文字プリントは2400dpi相当）
給紙方式	フロントローディング方式
用紙サイズ	トレイ1　　　　：A4 トレイ2、3、4：B5〜A3 トレイ5（手差し）：A5〜SRA3（320×450mm/12.6×17.7インチ）、官製はがき、定型外
用紙トレイ容量	トレイ1　　　　：560枚（P紙）530枚（J紙） トレイ2、3、4：620枚（P紙）580枚（J紙） トレイ5（手差し）：150枚（P紙）15mm以内
排出トレイ容量	排出トレイS：　200枚（P紙） 排出トレイM：　500枚（P紙）
電源	100V（Min. 90V〜Max. 110V）・15A、50/60Hz
最大消費電力	1.5kW
画質保証環境	温度　：　10〜35℃ 湿度　：　15〜85%RH（結露のないこと） 温度が35℃のときは湿度47.5%以下、湿度が85%のときは温度27.8℃以下でお使いください。
大きさ	幅620×奥行788×高さ1038mm
機械占有寸法	幅1393×奥行788mm（用紙トレイ5（手差し）含まず）
質量	約205kg（本体のみ）

注記　製品の仕様・外観は、改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

付-C.2　DocuPrint C1250

形式	床上型（コンソールタイプ）レーザープリンター
プリント方式	半導体レーザー方式 ゼログラフィ方式
プリント速度	50枚/分（白黒モード） 12.5枚/分（カラーモード） 記録条件：A4サイズ▯送り （同一内容を連続印刷）
ウォームアップタイム	電源投入後9分10秒以内 （温度20℃、湿度60%の場合）
解像度/階調	600dpi/256階調（文字プリントは2400dpi相当）
給紙方式	フロントローディング方式
用紙サイズ	トレイ1　　　：A4 トレイ2、3、4：B5〜A3 トレイ5（手差し）：A5〜SRA3（320×450mm/12.6×17.7インチ）、官製はがき、定型外
用紙トレイ容量	トレイ1　　　：560枚（P紙）530枚（J紙） トレイ2、3、4：620枚（P紙）580枚（J紙） トレイ5（手差し）：150枚（P紙）15mm以内
排出トレイ容量	排出トレイS：200枚（P紙） 排出トレイM：500枚（P紙）
電源	100V（Min. 90V〜Max. 110V）・15A、50/60Hz
最大消費電力	1.5kW
画質保証環境	温度　：　10〜35℃ 湿度　：　15〜85%RH（結露のないこと） 温度が35℃のときは湿度47.5%以下、湿度が85%のときは温度27.8℃以下でお使いください。
大きさ	幅620×奥行788×高さ987mm
機械占有寸法	幅1393×奥行788mm（用紙トレイ5（手差し）含まず）
質量	約186kg（本体のみ）

注記 製品の仕様・外観は、改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

索　引

フ

ヘ

ホ

マ

メ

ユ

ヨ

ラ

ロ

マニュアルコメント用紙

本書をより使いやすいものとするために、皆様からの貴重なご意見(説明不足、間違い、誤字、誤植、ご要望など)をお待ちいたしております。ご記入に際しましては、マニュアルに関することのみ具体的にご指摘くださるようお願いいたします。

• マニュアルの名称	取扱説明書(仕様編)	• 管理番号	DE-0582M1

• ご 芳 名		• 貴 社 名	
• 所属部門		• 電話番号	[内線]
• 所 在 地			

• ペ ー ジ	• 行	• 内容へのご指摘/ご要望

• 富士ゼロックス記入欄		
• 記事	• 受付No.	• 受付担当印

[折り込み線]

富士ゼロックス(株)社内メール扱い

[送付先]

ドキュメントエンジニアリング部　行

担当社員

事業部　営業所　課　G

氏名

[折り込み線]

切り取り線

- ご記入くださいましたら点線の部分で折り込みホチキスなどでとめたうえ、お買い求めの販売店にお渡しください。
- このままで郵便物として投函なさらないようにご注意ください。

この商品の保守・操作のお問い合わせ先については、本体同梱の
取扱説明書を参照してください。

DocuColor 1250 **シリーズ** */DocuPrint C1250* **取扱説明書（仕様編）**

著作者 ― **富士ゼロックス株式会社**
ドキュメントエンジニアリング部
発行者 ― **富士ゼロックス株式会社**
〒 107-0052 **東京都港区赤坂** 2-17-22
電話 03 (3585) 3211

発行年月―1999 **年** 5 **月** **第** 1 **版**

Printed in Japan

THE DOCUMENT COMPANY

FUJI XEROX

ちきゅうにやさしい
みどりをまもる

この説明書はエコマーク商品に認定
された再生紙を使用しています。

1 版
1999 年 5 月
891E78220
帳票 No. DE-0582